

【新学期手当】

フランスでは、子供が学校で9月の新学期を迎える少し前の時期に、新学期手当が支給されます。これは、新学期が始まるにあたって何かと買いそろえたりするものが多く、出費がかさむことから、その費用を補償して家計の負担を減らそうというものです。

具体的には、学校に通う6歳から18歳までの子供がいる家庭に対し、新学期ごとに、子供1人につき268ユーロが支給されます。ただし、所得制限があり、比較的年収の高い家庭には支給されません。

日本でも、子供が新学期を迎えるたびに、新たな副教材や体操着、制服、上履きなどを買わなければならない、その費用は馬鹿になりません。親にとって、子供が成長して学年が上がっていく姿を見るのはうれしいことですが、そのたびにお金が出ていくのは、正直、頭が痛いところです。

ですから、そのようなところまできっちり目配りして、細かなケアをするフランスは、さすがだなと思います。日本でも親の悩みをよく理解した上で、かゆいところに手が届く制度設計をすることが必要だと痛感します。